2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4116　　ＵＲＬ　https://www.daicolor.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名）高橋 弘二
問合せ先責任者　（役職名）CFO 経理・財務本部 本部長　（氏名）浅利 祐爾　　TEL 03-3662-1638

半期報告書提出予定日　　2026年11月10日　　配当支払開始予定日　2026年12月９日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	68,595	11.1	7,078	72.5	7,537	67.9	5,586	48.4
2026年３月期中間期	61,723	△0.7	4,104	18.1	4,489	19.7	3,764	△53.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　6,425百万円（124.5%）　2026年３月期中間期　2,862百万円（△75.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	82.40	―
2026年３月期中間期	54.82	―

（注）2026年４月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり中間純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	213,223	141,686	65.4
2026年３月期	205,444	141,210	67.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　139,422百万円　2026年３月期　138,629百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	87.00	―	133.00	220.00
2027年３月期	―	27.50			
2027年３月期（予想）			―	27.50	55.00

（注１）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
（注２）2026年３月期中間配当金の内訳　普通配当　72円00銭　特別配当　15円00銭
2026年３月期期末配当金の内訳　普通配当　118円00銭　特別配当　15円00銭
2027年３月期中間配当金の内訳　普通配当　23円75銭　特別配当　3円75銭
2027年３月期（予想）期末配当金の内訳　普通配当　23円75銭　特別配当　3円75銭
（注３）2026年４月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っておりますが、2026年３月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,900	8.5	13,300	74.8	14,100	66.1	9,200	13.6	140.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	72,452,440株	2026年３月期	72,452,440株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	6,989,861株	2026年３月期	4,190,600株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	67,795,958株	2026年３月期中間期	68,673,311株

（注）2026年４月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け決算説明会と個人投資家向け決算説明会を開催する予定です。これらの説明会で使用する資料等については、各説明会の前日までに東京証券取引所及び当社ウェブサイトにて開示・掲載する予定です。

・機関投資家・アナリスト向け決算説明会
日時：2026年12月３日（木）　10時～

・個人投資家向け決算説明会
日時：2027年１月21日（木）　13時～

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（収益認識関係） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の当社グループの主要な販売先動向は以下のとおりとなりました。

輸送機器業界	国内市場では、自動車生産が底堅く推移し、コンパウンドや着色剤が堅調に推移 海外市場では、ウレタン樹脂が北米向けのHV用途が堅調だったものの、一部EV向けは在庫調整等により低調に推移
情報電子業界	液晶ディスプレイ向け製品は、パネル生産の高水準な稼働が継続し、顔料及びコーティング剤が好調に推移 データセンター向けや半導体関連向けのコンパウンド・着色剤が好調に推移
包装・パッケージ業界	グラビアインキは、原材料高騰を製品価格改定で吸収 国内市場では、期初の中東情勢懸念による前倒し受注の反動や天候不順の影響により期後半にかけて販売数量が伸び悩んだものの、海外市場では販売数量が増加したことで、好調に推移
建材業界	新築住宅向けの着色剤及びコーティング剤は、住宅着工件数の低迷や中東情勢懸念による前倒し受注の反動により低調に推移した一方、リフォーム向け着色剤は堅調に推移

以上の結果、売上高は685億９千５百万円（前年同期比11.1%増）となりました。営業利益は、高付加価値製品の販売が好調であったこと及び原材料価格が高騰する前の在庫を消費したことによる一時的な利益押し上げ効果等により70億７千８百万円（同72.5%増）、経常利益は75億３千７百万円（同67.9%増）とそれぞれ増益になりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、特別損失に中国子会社の事業整理損７億２千２百万円、事業構造改善費用６億円を計上しましたが、特別利益に政策保有株式の売却による投資有価証券売却益12億１千４百万円を計上したことにより、55億８千６百万円（同48.4%増）と増益になりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

（カラー＆ファンクショナル　プロダクト）

当セグメントでは、顔料・繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、樹脂コンパウンド、顔料分散体、機能性材料など、顔料及び顔料の２次加工品を中心に製造・販売を行っています。

情報電子業界向けの顔料及び分散体は、液晶ディスプレイ用途が好調に推移したほか、半導体やデータセンター向けコンパウンド・着色剤が好調に推移しました。

輸送機器業界向けのコンパウンド・着色剤は、国内は堅調に推移しました。海外は中国向けが低調に推移しましたが、インド向けは好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は379億１千３百万円（同11.5%増）、営業利益は36億１千４百万円（同63.6%増）と増収増益になりました。

（ポリマー＆コーティング　マテリアル）

当セグメントでは、ウレタン樹脂、天然物由来高分子、紫外線・電子線硬化型コーティング剤など、合成樹脂及び特殊コーティング剤を中心に製造・販売を行っています。

ウレタン樹脂は、輸送機器業界向けは北米のHV向けが堅調に推移したものの、EV向けは低調に推移しました。産業資材業界向けの感熱記録用コーティング剤は好調に推移しました。情報電子業界向けの液晶ディスプレイ用コーティング剤は好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は125億５千７百万円（同3.2%増）、営業利益は19億９百万円（同39.1%増）と増収増益になりました。

（グラフィック＆プリンティング　マテリアル）

当セグメントでは、各種用途に対応した幅広い種類のグラビア・フレキソインキ、オフセットインキなど、パッケージ用及び広告出版用インキを中心に開発、製造及び販売を行っています。

国内のグラビアインキは、中東情勢への懸念に伴う前倒し受注や天候不順の影響から、食料品・飲料ラベル用途が伸び悩んだものの、原材料価格の高騰に対して価格改定で吸収し増収となりました。海外では、インドネシア現地法人が好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は181億４百万円（同16.5%増）、営業利益は15億３千９百万円（同202.9%増）と増収増益になりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は2,132億２千３百万円となり、前連結会計年度末と比べ77億７千９百万円増加しました。これは主に「受取手形及び売掛金」、「棚卸資産」が増加したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は715億３千７百万円となり、前連結会計年度末と比べ73億３百万円増加しました。これは主に「支払手形及び買掛金」、「短期借入金」等の有利子負債が増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,416億８千６百万円となり、前連結会計年度末と比べ４億７千５百万円増加しました。これは主に自己株式の取得による減少があった一方で、「利益剰余金」が増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、2026年８月６日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年11月10日）に開示いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,436	21,987
受取手形及び売掛金	52,169	56,956
棚卸資産	32,723	35,132
その他	1,351	1,633
貸倒引当金	△106	△109
流動資産合計	109,573	115,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,021	20,032
土地	13,237	13,540
その他（純額）	15,616	15,638
有形固定資産合計	48,875	49,212
無形固定資産		
その他	2,164	2,208
無形固定資産合計	2,164	2,208
投資その他の資産		
投資有価証券	20,630	21,902
退職給付に係る資産	21,711	21,964
その他	2,503	2,350
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	44,830	46,202
固定資産合計	95,870	97,623
資産合計	205,444	213,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,908	30,229
短期借入金	9,022	10,241
１年内返済予定の長期借入金	1,723	3,373
未払法人税等	1,516	1,902
賞与引当金	1,918	2,060
その他	4,543	4,881
流動負債合計	45,631	52,690
固定負債		
長期借入金	7,772	6,355
事業整理損失引当金	―	722
退職給付に係る負債	2,383	2,478
繰延税金負債	7,802	8,643
その他	643	646
固定負債合計	18,602	18,847
負債合計	64,233	71,537

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,974	9,982
利益剰余金	95,983	99,299
自己株式	△2,676	△6,280
株主資本合計	113,321	113,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,413	9,525
為替換算調整勘定	8,716	9,043
退職給付に係る調整累計額	8,178	7,811
その他の包括利益累計額合計	25,308	26,380
非支配株主持分	2,580	2,263
純資産合計	141,210	141,686
負債純資産合計	205,444	213,223

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	61,723	68,595
売上原価	48,564	52,364
売上総利益	13,159	16,230
販売費及び一般管理費	9,054	9,151
営業利益	4,104	7,078
営業外収益		
受取利息	185	188
受取配当金	248	254
持分法による投資利益	99	134
その他	287	328
営業外収益合計	821	905
営業外費用		
支払利息	139	154
為替差損	88	157
固定資産賃貸費用	44	46
その他	162	88
営業外費用合計	436	447
経常利益	4,489	7,537
特別利益		
固定資産売却益	4	1
投資有価証券売却益	635	1,214
事業譲渡益	450	－
その他	3	0
特別利益合計	1,093	1,216
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産除却損	55	79
事業整理損	－	722
事業構造改善費用	－	600
その他	1	1
特別損失合計	63	1,404
税金等調整前中間純利益	5,519	7,348
法人税、住民税及び事業税	716	1,831
法人税等調整額	958	115
法人税等合計	1,674	1,947
中間純利益	3,845	5,401
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	80	△185
親会社株主に帰属する中間純利益	3,764	5,586

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,845	5,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,606	1,111
為替換算調整勘定	△2,399	351
退職給付に係る調整額	△203	△366
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△71
その他の包括利益合計	△983	1,024
中間包括利益	2,862	6,425
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,918	6,658
非支配株主に係る中間包括利益	△56	△232

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年６月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2026年７月24日に19,123株の自己株式の処分を行いました。

また、2026年９月15日開催の取締役会決議に基づき、2026年９月16日に自己株式2,807,500株の取得を行いました。

これらの結果、単元未満株式の買取りによる取得も含め、当中間連結会計期間において、資本剰余金が７百万円増加、自己株式が3,603百万円増加し、資本剰余金が9,982百万円、自己株式が6,280百万円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額
	カラー&ファンクショナルプロダクト	ポリマー&コーティングマテリアル	グラフィック&プリンティングマテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	60	204	141	407	(407)	－
計	34,060	12,372	15,677	62,109	(385)	61,723
セグメント利益（営業利益）	2,209	1,372	508	4,089	14	4,104

（注）「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借などであります。

２．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

＜地域別＞＜契約別＞

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額
	カラー&ファンクショナルプロダクト	ポリマー&コーティングマテリアル	グラフィック&プリンティングマテリアル	計		
日本	26,515	8,182	11,451	46,148	21	46,169
アジア	5,665	2,629	3,654	11,949	－	11,949
その他	1,818	1,356	429	3,604	－	3,604
計	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723
顧客との契約から生じる収益	33,999	12,167	15,535	61,702	20	61,723
その他の収益	－	－	－	－	0	0
外部顧客への売上高	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723

＜有償受給取引による売上高への影響額＞

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額
	カラー&ファンクショナルプロダクト	ポリマー&コーティングマテリアル	グラフィック&プリンティングマテリアル	計		
外部顧客への売上高（総額）	53,559	12,200	15,536	81,297	21	81,318
有償受給取引による売上相殺額	△19,560	△33	△1	△19,594	－	△19,594
外部顧客への売上高（純額）	33,999	12,167	15,535	61,702	21	61,723

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額
	カラー&ファンクショナルプロダクト	ポリマー&コーティングマテリアル	グラフィック&プリンティングマテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	37,913	12,557	18,104	68,574	20	68,595
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	51	269	164	485	(485)	－
計	37,965	12,826	18,268	69,060	(464)	68,595
セグメント利益（営業利益）	3,614	1,909	1,539	7,063	15	7,078

（注）「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、不動産の賃貸借などであります。

２．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

＜地域別＞＜契約別＞

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額
	カラー&ファンクショナルプロダクト	ポリマー&コーティングマテリアル	グラフィック&プリンティングマテリアル	計		
日本	29,072	8,487	13,300	50,861	20	50,882
アジア	6,869	2,715	4,586	14,171	－	14,171
その他	1,971	1,353	216	3,542	－	3,542
計	37,913	12,557	18,104	68,574	20	68,595
顧客との契約から生じる収益	37,913	12,557	18,104	68,574	20	68,595
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	37,913	12,557	18,104	68,574	20	68,595

＜有償受給取引による売上高への影響額＞

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	中間連結損益計算書計上額
	カラー&ファンクショナルプロダクト	ポリマー&コーティングマテリアル	グラフィック&プリンティングマテリアル	計		
外部顧客への売上高（総額）	58,191	12,599	18,105	88,897	20	88,917
有償受給取引による売上相殺額	△20,277	△42	△1	△20,322	－	△20,322
外部顧客への売上高（純額）	37,913	12,557	18,104	68,574	20	68,595

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。